

# 第1回「鹿児島地域 地域振興の取組方針」見直し地域懇談会 議事概要

1 日時 令和4年8月4日（木）15:00～16:45

2 場所 鹿児島地域振興局5階大会議室

3 出席者

(1) 地域懇談会委員 14人（局長除く。欠席1人）

町田委員，花牟禮委員，東福委員，濱村委員，永山委員，  
佐々委員，後藤委員，中村委員，村山委員，吉崎委員，  
久木留委員，池田委員，迫委員，倉野委員

(2) 県（鹿児島地域振興局） 13人

局長，総務企画部（部長，総務企画課長，主幹，主幹兼地域振興係長），保健福祉環境部（部長，地域保健福祉課長），農林水産部（部長，林務水産課長），建設部（部長，建設総務課課長補佐），鹿児島教育事務所（総務課長，指導課長）

(3) オブザーバー

- ・鹿児島地域振興局管内選出県議会議員 5人  
吉留議員，松田議員，東議員，たいら議員，ほかきど議員
- ・管内市村企画担当課長等 6人

4 議事

(1) 「かごしま未来創造ビジョン（改訂版）」，「鹿児島地域 地域振興の取組方針」の見直しについて

- ・ **資料2** 「「地域振興の取組方針」の見直しについて」及び **資料3** 「鹿児島地域 地域振興の取組方針〈改訂版〉素案」に沿って総務企画部長から説明

(2) 意見交換で出された主な意見

- ・ どの分野においても担い手不足，高齢化が共通の課題
- ・ 子どもたちが将来，地域に残り地域のために働くために，働く場を整備することが必要
- ・ 医療の充実がなければ安心して生活できない。地元で地域医療を支える医師が少なくなっている実情を理解して欲しい。
- ・ 脱炭素やSDGsについては，排出しているCO2の量を企業自身が現状把握するための支援が必要
- ・ 離島にとっては人口流出・減少が一番大きな課題
- ・ 鹿児島地域にスピード感とさらなる安心感（＝防災）があれ

ば移住にもつながり通う人も増える。

- ・ デジタル化はスピード感を持って進めることが必要
- ・ 林業は循環産業だったが、植林が進まなくなった。県補助がないと他県との競争にも勝てない。
- ・ 1億人に満たない先進諸国はいくらでもある。人口が減っても一人一人の生産性を上げるため、機械化やデジタル化を進めれば解決できる課題はいっぱいある。
- ・ 柔軟性のある視点を持ってデジタル化に対応し、時代の流れに対応できる人材の育成が必要
- ・ 鹿児島地域の特性としては、交通渋滞が多大
- ・ 消防車や救急車が通れない道路がある。道路交通網の整備は産業の向上にもつながる。
- ・ どんなものでも観光素材になる。漁業，林業，農業，福祉など、どの分野でもブレイクする可能性があるものを見つけるしかない。